

2020年5月27日

スポーツ教室の感染拡大予防ガイドライン

昭和総合型地域スポーツクラブ キャンペリア

日頃より当クラブの活動にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

6月からのスポーツ教室再開に向け、ガイドラインを作成いたしました。以下の項目（添付資料1）のように、参加者皆様の人命や健康の安全を最優先とし、感染拡大のリスクを最大限排除したものとなっております。スタッフ一同努めてまいりますので、ご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

1. スタッフの対応（利用者に求めること）

- (1) 利用者が以下の事項に該当する場合は、利用の見合わせを求める（利用当日に書面で確認を行う）。
 - ・体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- (2) マスクを持参する（受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用する）。
- (3) こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施する。
- (4) 他の利用者、施設管理者等との距離（できるだけ2m以上）を確保する。
- (5) 利用中に大きな声で会話、応援等をしない。
- (6) 感染防止のために施設管理者が決めたその他の措置の遵守、施設管理者の指示に従う。
- (7) 利用終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、施設管理者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

2. スクール開始前の対応

- (1) 受付時には、手指消毒薬を設置する。
- (2) 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛ける。
- (3) 利用者が距離をおいて並べるように指示をする。
- (4) スタッフは、マスクを着用する。
- (5) 利用者から健康チェックシート（添付資料2）の提出を求める。
- (6) 利用者がマスクを準備しているか確認する。

3. スクール中の対応

- (1) コーチはマスクを着用する。

- (2) 利用者が距離をおいてプレーするように指導する（熱中症対策のためプレー中はマスクしなくてもよい）。
- (3) 手で口・鼻・目に不用意に触らないように呼び掛ける。
- (4) 利用者の運動活動の様子に応じてプログラムを組む。

4. 準備すべき事項の確認

・施設の管理

- (1) 室内で複数の利用者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること
- (2) 換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること

・洗面所

- (1) トイレ内の複数の利用者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒する。
- (2) トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。
- (3) 手洗い場には石鹸を用意する。
- (4) 「手洗いは 30 秒以上」等の指示をする。
- (5) 手洗い後に手を拭くためのマイタオルの持参を求める。

・スポーツ用具の管理

- (1) 利用者にスポーツ用具を持参してもらうよう周知する。
- (2) やむを得ず共用するスポーツ用具については、手が頻回に触れる箇所を工夫して最低限にした上で、こまめに消毒する。
- (3) 貸出前後に消毒する。

・保護者への対応

- (1) 保護者同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ保護者席の数を減らすなどの対応をとる。
- (2) 大声での声援を送らないことや会話を控えること、会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知する。

・ゴミの廃棄

- (1) ゴミは参加者自身が持ち帰るよう指示をする。

・清掃・消毒

- (1) 市販されている界面活性剤含有の洗剤や漂白剤を用いて清掃する。
- (2) 通常の清掃後に、不特定多数が触れる環境表面を、始業前、終業後に清拭消毒する。

・その他

- (1) スポーツドリンク等の飲料については、マイドリンクの持参を促す。
- (2) 利用者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛ける。
- (3) 休憩時など会話をする際にはマスクを着用させる。
- (4) スクール終了後は長時間の会話を避け、なるべく早く解散させる。